

平成 28 年 1 月 13 日

## 第 2 回 水晶体の線量限度に関する専門研究会議事録

日 時：平成 27 年 12 月 10 日（木） 13：30～16：30

場 所：寺田ビル 3F セミナー室

議 題：

- (1) IRPA14 での発表内容について
- (2) 海外への情報発信方法について
- (3) 日本の学協会の最新動向について
- (4) 最近の国外動向について
- (5) その他

議事概要：

- (1) IRPA14 での発表内容について

主査より、前水晶体の放射線防護に関する専門研究会及び本専門研究会の活動を広く世界に発信するため、来年 5 月に開催される IRPA14（南アフリカ）に、「Current discussions in Japan Health Physics Society regarding radiation protection of the lens of the eye」として、演題の登録申請を行った旨、報告があった。（専門研究会メンバーには、メールにてコメント受付、演題登録申請について了承済み）

- (2) 本専門研究会の海外への情報発信について

幹事より、本専門研究会活動内容の海外への発信内容及び時期についての検討が提案された。議論の結果、発信内容については、わが国の各産業での水晶体被ばく線量レベル、防護、研究の現状だけでなく、日本の水晶体線量限度の法令取り入れ状況等についても、取りまとめることとした。発信時期については、本専門研究会終了前までに、投稿できる状態のドラフト作成を目指す。発信方法は海外のジャーナルへ投稿することとし、具体的な投稿先については、取りまとめ内容等から、今後決定することとした。

- (3) 日本の学協会の最新動向について

東京電力福島第一原子力発電所作業員の水晶体線量について、現在東電 HP\*等に公開されているデータについて報告があった。関連研究として、厚生労働省科研費において実施されている「東京電力福島第一原子力発電所における緊急作業従事者の放射線被ばく量と水晶体混濁発症に関する調査」\*\*について紹介があった。

\*東電ホームページ：[http://www.tepco.co.jp/cc/press/2015/1262987\\_6818.html](http://www.tepco.co.jp/cc/press/2015/1262987_6818.html)

\*\*厚労省 HP；<http://mhlw-grants.niph.go.jp/niph/search/NIDD00.do?resrchNum=201425008A>

ISO15382 の改定版が、12 月 1 日に刊行されたこと、ISO4037 については改定作業中である旨、報告があった。

このほか、10 月上旬に開催された放射線技術学会秋季大会での水晶体関連発表についての紹介があった。

(4) 最近の国外動向について

NCRP SC1-23(Guidance on Radiation Dose Limits for the Lens of the Eye)、EPRI、CONCERT (European Joint Programme for the Integration of Radiation Protection Research)等における活動状況について紹介があった。

(5) その他

平成28年6月30日及び7月1日に開催される保健物理学会第48回研究発表会において、専門研究会枠を申請することとした。

IRPA 水晶体関連タスクグループの動きについては、タスクグループ委員より、随時報告してもらおうようお願いした。また、必要に応じて、専門研究会としてサポートしていくことを確認した。

以上